

武庫川の利活用

- 研究と私の活動を通して -

関西学院大学大学院総合政策研究科
博士課程前期課程1年 上野紗恵

目次

- * 地図の比較
- * 武庫川の利用実態に関するアンケート調査
- * 結論

地図の比較

* 時期

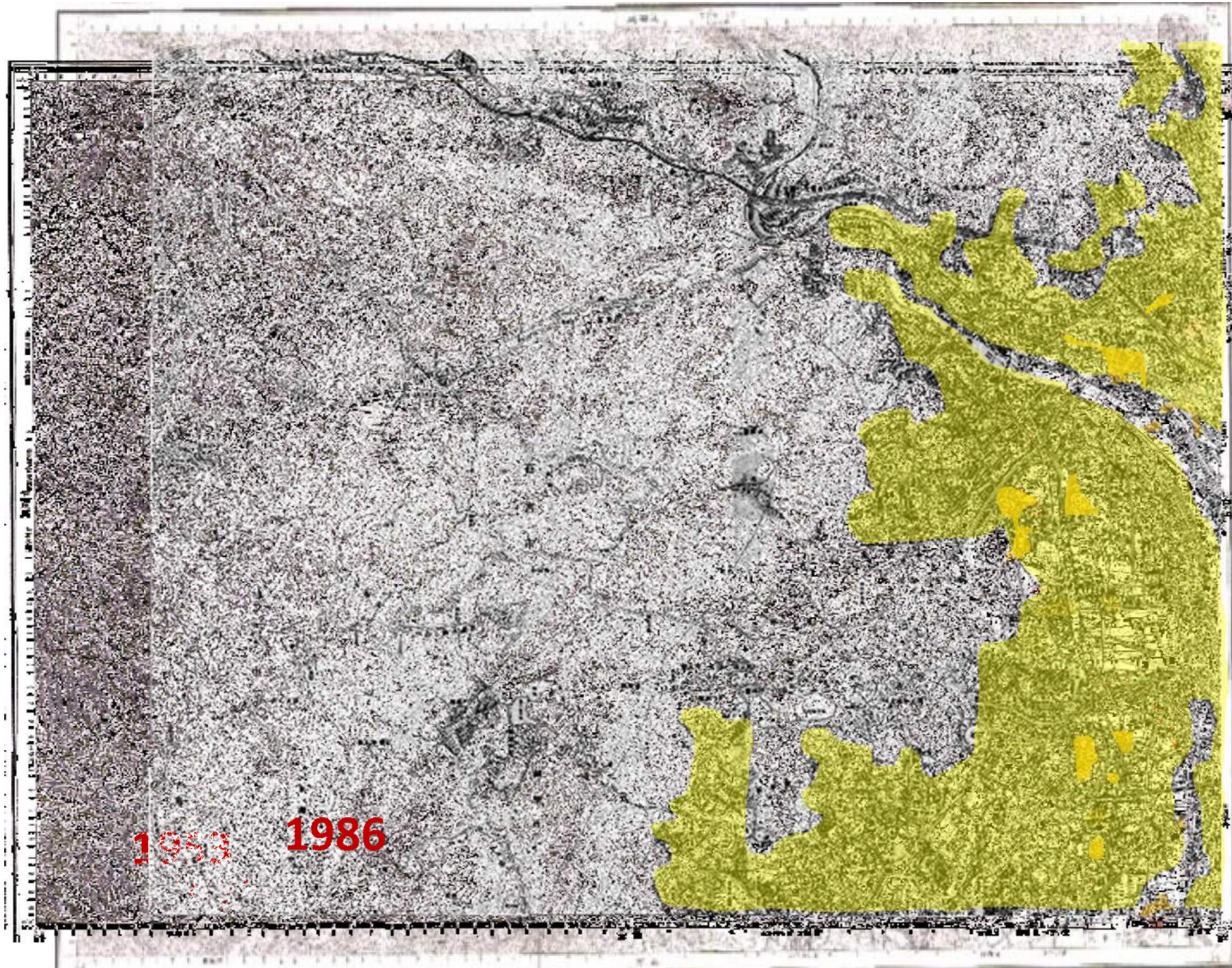
- * 大正12年(1923)、昭和28年(1953)
昭和61年(1986)

* 地図

- * 大日本陸地測量地形図42
- * 国土地理院

* 方法

- * 合計12枚(1時期4枚×3時期)をGISのジオレファレンス機能を用いて重ね合わせる



1953 1986

武庫川の利用実態に関するアンケート調査

* 調査主体

- * 武庫川・いやしの里川づくり研究会 田村博美氏、筆者

* 調査の目的

- * 川によってもたらされる現象が、武庫川の近くに立地する福祉施設や特別支援学校の人々に与える効果の把握
- * 河川空間の利用の意義や課題の把握

* 調査の対象

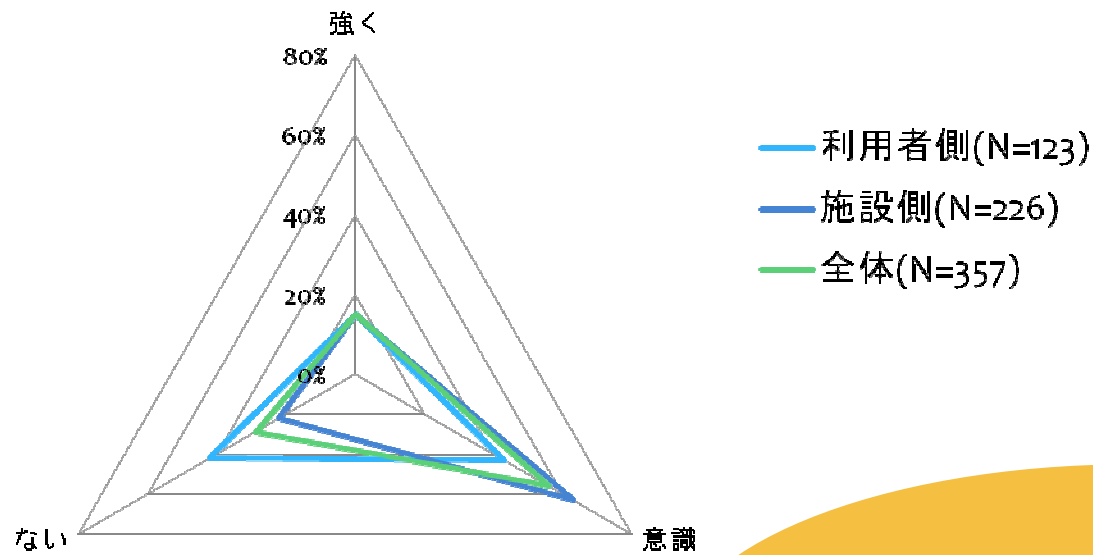
- * 研究対象フィールドに立地している計14の福祉施設、特別支援学校
- * アンケートの回収数

	全体	福祉施設(11施設)	特別支援学校(3校)
回収数	357	265	92

調査対象施設立地地図

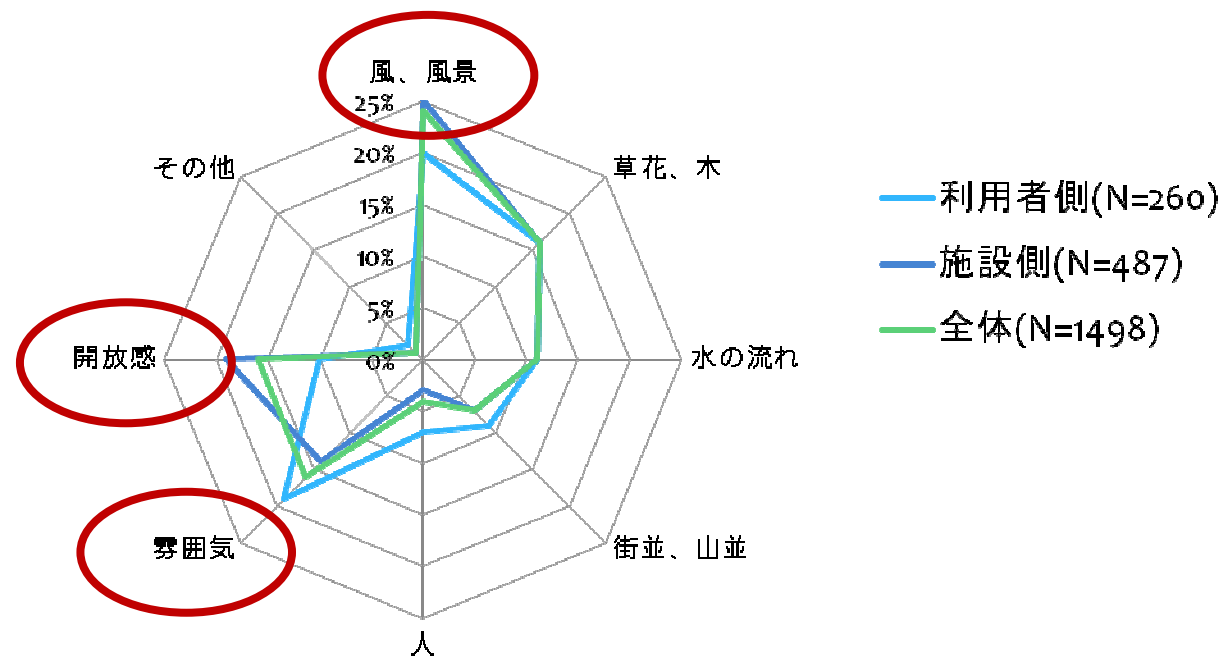


活動場所としての武庫川

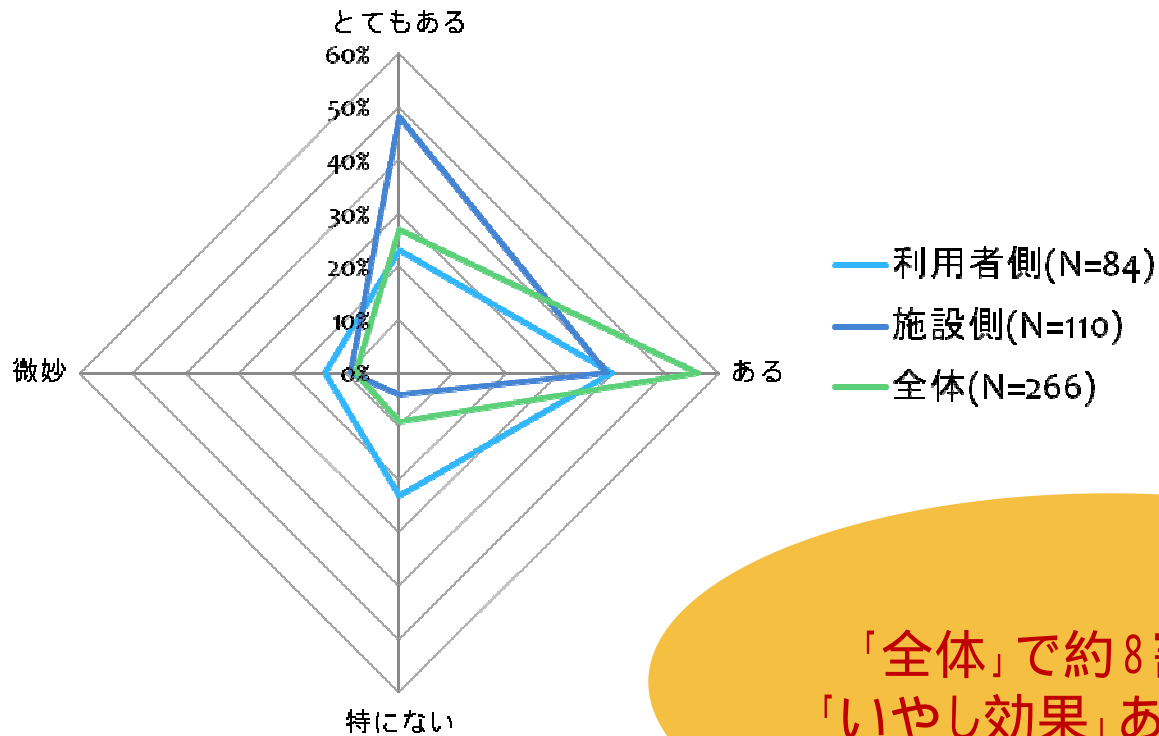


回答者の約7割が意識。
利用者側では「ない」という
回答も約4割

武庫川に行って良かったこと

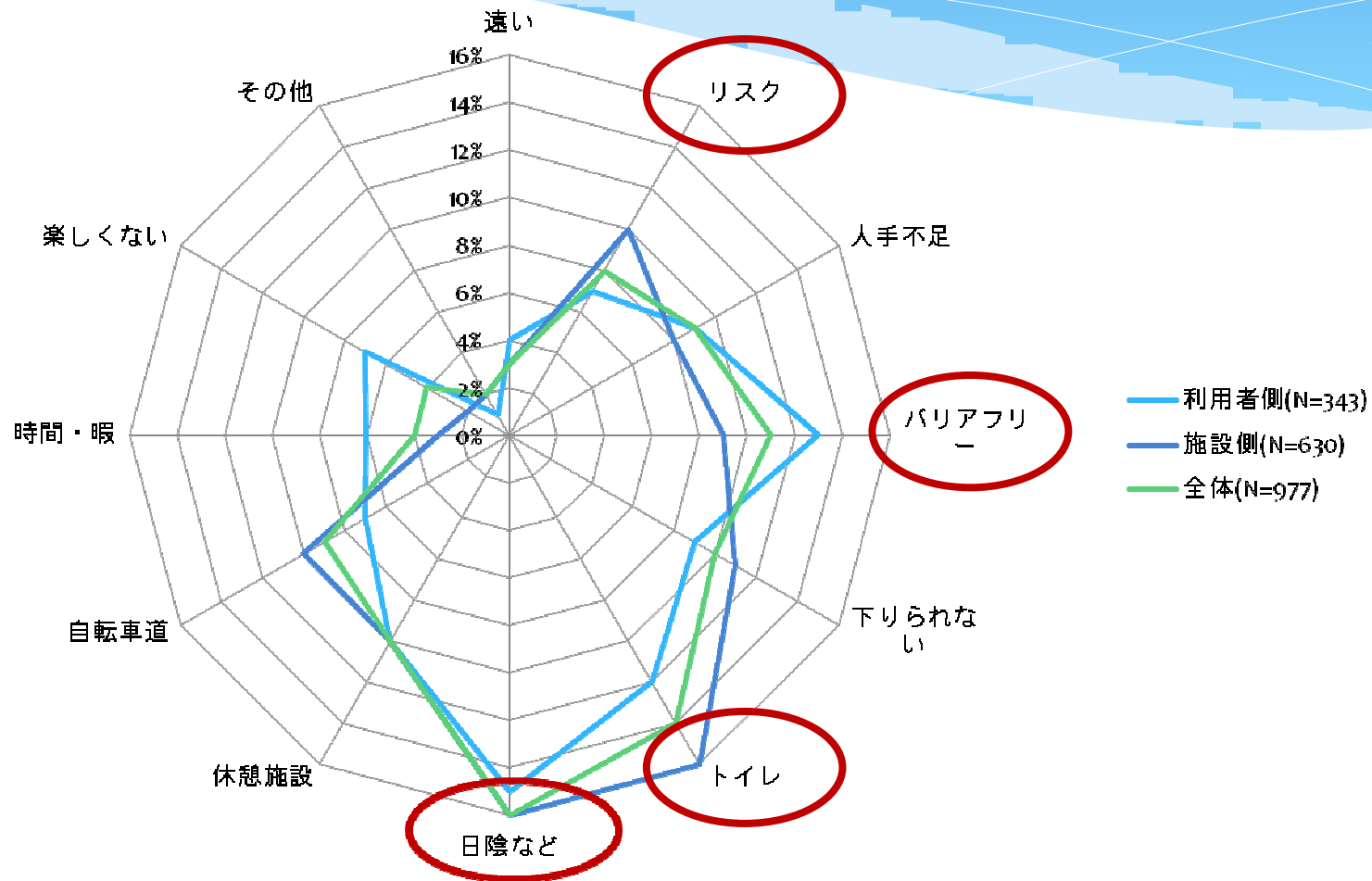


武庫川のいやし効果



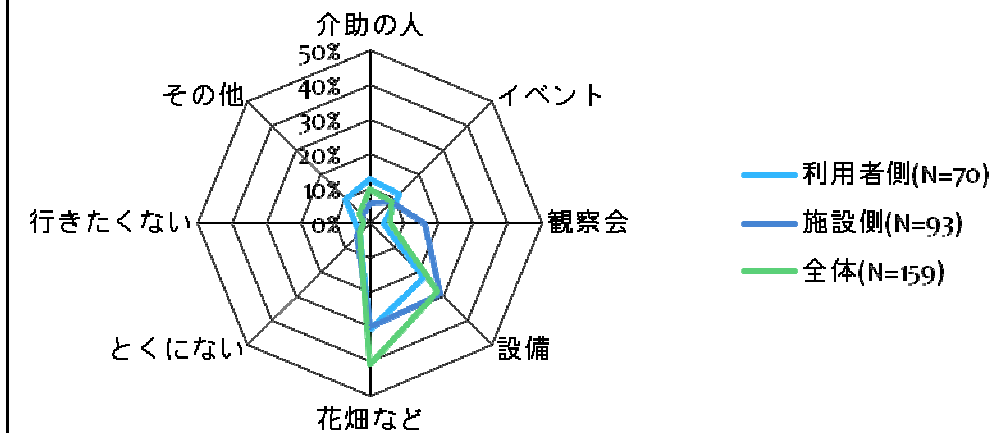
「全体」で約8割の人が
「いやし効果」あり！と回答

武庫川の課題・負担

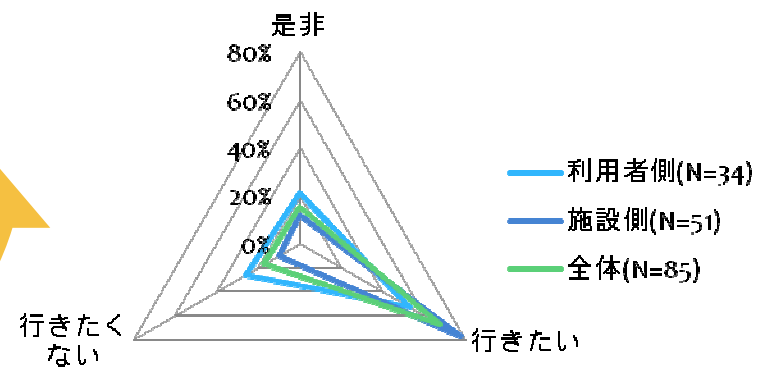


武庫川に行ったことがない

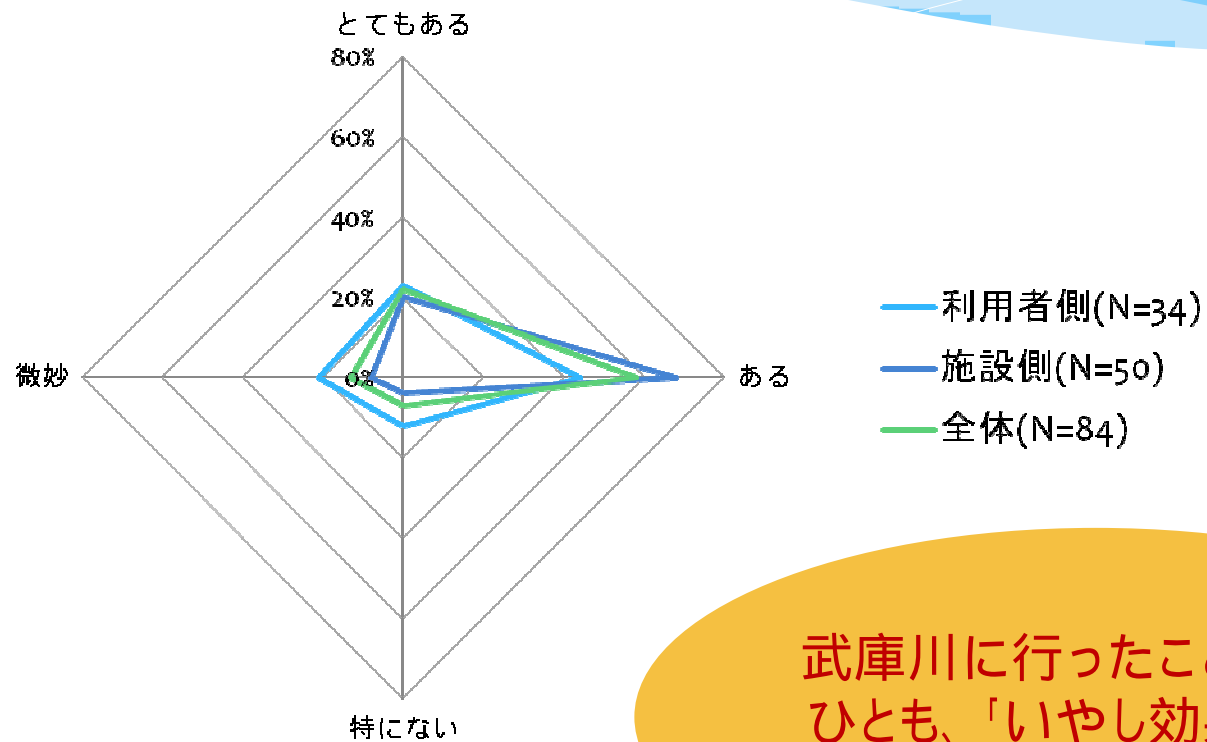
どのようなものが欲しいか(立場)



改善された場合(立場)



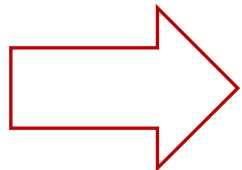
武庫川のいやし効果




武庫川に行ったことがない
ひとも、「いやし効果」があ
ると思っている！

結論

- * 武庫川の良さ
 - * 風や風景などの自然にふれることができる
- * 癒し効果の有無
 - * 武庫川には癒し効果がある
- * 利用するうえでの課題・負担
 - * 河川敷におりる箇所が少ない
 - * 河川敷で利用できるトイレがない
 - * 日陰や木陰、雨宿りの場所がない



武庫川の河川空間には癒し効果があり、武庫川を利用したいという潜在的ニーズがある




団体の連携に期待すること

武庫川での市民活動

現状

- * 学生・若者の参加が少ない
 - * 日常生活の中で“武庫川”の優先順位は下がりがち...
- * 活動があまり知られていない
- * 団体間の交流が少ない

提案

* 毎回  加 できるときに

* 授業、アルバイト、課外活動との両立

* 活動参加者の多様性

* 男性も女性も

* 幅広い世代の参加

* 開けた場づくり

* 知らない場にいける、知らない人と知り合える

これからの武庫川

- * 防災的視点
 - * 流域市民が武庫川により関心を持つことが必要
- * かわまちづくりの視点
 - * 魅力あるまちづくり
 - * 貴重な自然空間
 - * いやしの空間